

医療最前線

知っておきたい褥瘡の基礎知識③



山本貴広 理学療法士

今回は、褥瘡(じょくそう)というものを紹介...

「OHスケール」というものを紹介...

「長時間の同じ姿勢を避ける」ということを踏まえて...

「長時間の同じ姿勢を避ける」ということを踏まえて...

「長時間の同じ姿勢を避ける」ということを踏まえて...

「長時間の同じ姿勢を避ける」ということを踏まえて...

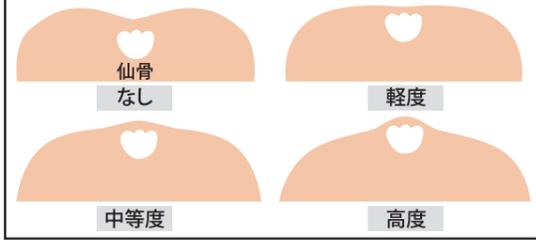
【図1】OHスケール

Table with 2 columns: 危険要因 (Risk Factor) and 点数 (Points). Rows include 自力体位変換, 病的骨突出, 浮腫, 関節拘縮.

Table with 2 columns: 合計点数 (Total Points) and 褥瘡発生の危険度 (Risk Level). Rows range from 0 points (No risk) to 7-10 points (High risk).

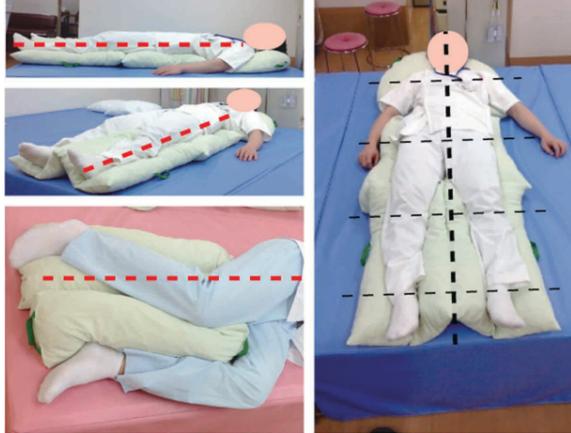
病的骨突出とは、骨の周囲の筋肉や皮下脂肪が少なくなる...

【図2】病的骨突出の判定



以上の①〜④の点数を合計し、1〜3点は...

【図3】ポジショニング

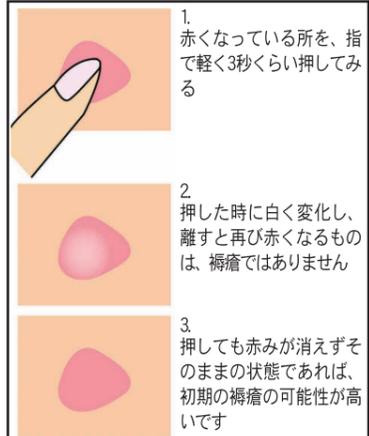


自力で寝返りができない方、あるいは既に褥瘡がある方の場合...

【図4】褥瘡ができやすい部位



【図5】指押し法



1 赤くなっている所を、指で軽く3秒くらい押してみる...

2 押した時に白く変化し、離すと再び赤くなるものは、褥瘡ではありません...

3 押しても赤みが消えずそのままの状態であれば、初期の褥瘡の可能性が高いです...

最後に、より長く自宅で介護するためには、急速な高齢化が深刻な問題となっている...

自宅での介護を続けていくためには、何よりもまず、介護者・家族の心身の負担を軽くすることが必要です...

理学療法士 (樋川病院 広島市西区天満町) 山本貴広